

十勝組 第9期

連研通信

十勝組 研修部



二〇一二年七月七日、本願寺帯広別院にて、第十三回連研が開催されました。七カ寺から二十四名の参加でした。

開会式では、頼田光明さん（広尾・

光音寺）の調声で、「おつとめ・作法」も兼ね、

「正信偈・六首引和讃」

のおつとめをいたしました。三〇分くらいかけて、ゆつくり、じっくりといただきました。とても大きな声でした。皆さん、お疲れさまでした。

その後で「浄土真宗の生活信条」を全員で

唱和いたしました。

話し合

い法座は

「質問・



回答特集」。「いつも疑問に思うこと。

これまでの連研全体を通して日頃から

の疑問に答えます」。

「お浄土は本当にあるのでしょうか？」

「経卓（経机）の上
にロウソクを上げ



るのは問題ですか？」「自力と他力がわかりません」「神社って・・・」「友引ってやっぱり気になっちゃいます」「臨死の体験者が身近にいますけど・・・」

このような質問のすべてに「回答」というか、脇谷さんがお話ししました。

質問の中には、お聴聞したり、何かに気づかせてく



ださったりしていく

中で、質問を問う意

味そのものが解消さ

れていく、そういう

タイプの質問もあつ

たように思いました。

なので、きちんと答

えるばかりが「きちんと答える」こと

にならないのだなあ、そこを答えてい

くってすごいなあ！ ……と思いが

ら聞かせていただきました。

※ひとこと感想を紹介します。

「本日の連研は非常に良かったと思います。時間の不足もありますがもっと聞きたいこともありましたが私なりに役に立ちました。今後も

よろしくお願いいたします」

「終わりに近づき今日のお話は何か濃いように思いました。話し合いも良かったで





り連研に出あえて本当によかったと思います」「本日のテーマはとてもためになるものばかりであったが、たくさんなテーマが出て来たので全部覚えることは出来なかつたが本当にためにな

す。まだまだ知りたいこともあるような気もします。たくさんの方におあい出来まして良かったです」「話し合い法座も皆さん疑問を思いのまま出しそれを脇谷さんがわかりやすく説明して下さって、本当に少しずつ身について行ってありがたいです」「いろいろと疑問に思っていたことが脇谷さんのお話でへあなるほど！とわかりやすく説明して下さり、勉強になりました」「今日は大変勉強にな



合いでした」「連研も終わりに近づき大変勉強させていただきました。スタッフの皆さまに感謝いたします。本当にありがとうございます。どうか健康で念仏にお

り良かったと思います。あと残り少なくなりました。次回も楽しみに参加しようと思つてます。これからもご指導よろしく願ひいたします」「脇谷さまのお話よくわかりました。聞いていて何度もうなづけることばかりでした。ありがとうございます」「話し合い法座でわからないことがわかるようになって本当に良かったと思います。ありがとうございます」「本日の話し合い法座は誠に有意義な話し



講できました。本当にありがとうございました。浄土正宗の生活信条をただただそのままにお受けした日々を歩んで参りたい私です」(了)

働きくださいませ」「久しぶりに出てこたが出来ました。今回の連研、本当に良かったです。いろいろと疑問に思つていたことが少し分かつたように思いました。毎日お寺にお参りをして、聴聞して聴聞して、納得するまで聞くことだと思つています。いつまでたつても解らない私ですから、お寺さんの話をこれからも聞いていこうと思つています」「連研十三回目を受

